

# 秋田県農業委員会女性協議会だより〈第6号〉

発行日 令和3年3月23日  
秋田県農業委員会女性協議会

## 1. 秋田県農業委員会女性協議会「第15回総会」「令和2年度研修会」を開催

今年度の総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、会員を参集する形での開催を取りやめ、書面議決により行いました。令和元年度事業報告及び収支決算の承認や役員を選出等の4議案を上程し、全議案が原案どおり承認され新役員が選出されました。

新役員			
会長	加藤	エリ子	湯沢市農業委員
副会長	金田	悦子	北秋田市農業委員
副会長	柴田	ますみ	秋田市農業委員
監事	遠藤	タミ子	横手市農業委員
監事	野村	良子	三種町農業委員



齋藤久江さん 報告の様子

また、1月21日に「令和2年度研修会」を開催しました。「農地制度と農地法3条4条5条の概要」というテーマのもと、事務局が農地制度の概要と農地法の目的、権利移動の許可要件や農地区分等を説明したほか、にかほ市農業委員の齋藤久江さんより、「にかほ市農業委員会のフードドライブ活動」(※1)の、取組のきっかけや開始から3年間の活動状況、食料品集めに工夫したポイント等について報告を頂きました。



第1回研修会 出席者の様子

出席者からは、「どんな思いから始めたのか」「最初はどんなものが集まったのか」「反対する委員はいなかったのか」等の質問が挙がり、齋藤さんは、「生活に困る方のために何かできないかという思いから始めた。この活動を提案する際には、にかほ市農業委員会の皆が賛同してくれるか不安だった。事前に会長に相談し承諾を得て提案した。皆は米、乾麺、缶詰等の食料品の提供や運搬の手伝いを協力的に行ってくれ、最近では、食料品を配りやすいように小分けにする工夫までしてくれている。」と答え、活発な研修会となりました。

※1 経済的事情等で困っている方のために食料品を集め、支援する団体へ届ける活動

## 2. 新会員の農業委員会業務への意気込み

昨年7月に県内17市町村で、農業委員・農地利用最適化推進委員の改選が行われ、新任の女性が12名就任し、当協議会へ入会しました。農業委員会業務への意気込みや抱負とともにご紹介いたします。

### 1. 鹿角市農業委員会 農業委員 阿部 弘子 さん



八月より農業委員として活動することとなり、まだ専門用語の理解が大変です。この冬は積雪も寒さも近年になく、ハウスや果樹等が心配です。今後も耕作されている田畑を守っていく為に、諸先輩の考えや意見を参考にさせていただき、少しでも役立つ様に努力していきたいと思います。

### 2. 鹿角市農業委員会 農地利用最適化推進委員 妹尾 千夏 さん



昨年より推進委員として活動させて頂いています。就農してまだ八年目ですが、以前から担い手がなく空き地になっていく畑をととも歯がゆく見えました。実際活動してみて、覚える事が沢山あり、単純ではない道のりに追いつく事の方が大変で、先輩の皆さんに勉強させて頂きたいと思っています。

### 3. 小坂町農業委員会 農地利用最適化推進委員 佐々木 葉子 さん



農地利用最適化推進委員の役を引き受ける際に、始めてこの役を知りました。農地として使える土壌を作るためには長い年月を要します。今は農業機械も多岐にわたり労力は軽減されていますが、人的労力は高齢化している現状です。この土地と自然を大事にしながら次世代へ繋げていきたい思いです。

### 4. 大館市農業委員会 農業委員 渡邊 久留美 さん



農業委員になり約半年が過ぎました。農業委員会が果たす役割や法律等をやっと理解できてきたところですが、まだまだ勉強が必要です。近年、農地が荒廃してきていると感じ、少しでも維持できる様に委員として活動していきたいと思っています。

### 5. 大館市農業委員会 農業委員 小畑 美恵子 さん



私は農業委員の業務を詳しく知らないまま委員になり、勉強することはまだまだたくさんあるのですが、なかなか覚えきれません。今、農業は担い手不足や遊休農地等、色々な問題を抱えております。農業を支え農業のために働けるような委員になりたいと思います。

### 6. 秋田市農業委員会 農業委員 星 容子 さん



昨年7月より秋田市農業委員の職を拝命いたしました。私は、地元の子供達に食べる事や命の大切さを伝える食育活動をしてきました。農業委員として、地域の農地を守ることはもちろんですが、食育活動を通して得た経験や女性農家としての視点を生かした活動をしていきたいと考えております。

7. 由利本荘市農業委員会 農業委員 伊藤 直子 さん



八月より活動をはじめ、遊休農地、耕作放棄地が思った以上のスピードで進んでいることや、高齢化、担い手不足などの厳しい現状を認識し、このような課題に微力ながら女性委員、中立委員ならではの視点で提言、情報提供などをしていきたいです。

8. 由利本荘市農業委員会 農業委員 吉尾 麻美 さん



8月より、由利本荘市の農業委員に就任しました。初めての事で、先輩方に頼ってばかりの現状です。自分自身も農業に従事しているので、少しずつですがその経験を活かし、これからの農業にプラスになるように活動していきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

9. 大仙市農業委員会 農地利用最適化推進委員 竹原 まゆみ さん



農業者の高齢化、人口減少の問題に直面している現状で、委員になった責任の重さを、日ごとに感じています。先日、県女性協議会研修会に参加し、にかほ市のフードドライブ活動の取組報告を聞きました。「自分達が動く」ことの大切さを改めて知りました。情報と実際を正確に捉え、女性の視点を活かして、小さな事でも動くことを大事にして活動したいと思います。

10. 美郷町農業委員会 農業委員 木村 とも子 さん



私は、農業従事者ではない立場の農業委員です。昨年7月から農業委員としての活動が始まっていますが、分からないことを先輩の委員に教えていただきながら励んでおります。微力ながら、美郷町の農業発展に力を注ぎたいと思っております。

11. 東成瀬村農業委員会 農地利用最適化推進委員 菊地 光子 さん



農地利用最適化推進委員に任命されてから半年が過ぎ、先輩委員の皆様、事務局にささえられながら活動しており、知識も少しずつ得ることができました。今年は大雪で困難な年になると思いますが、委員として地域の方々の意見を聞きながら、共に頑張っていきたいと思います。

12. 東成瀬村 農地利用最適化推進委員 佐々木 光枝 さん



農地利用最適化推進委員という役職を仰せつかり、半年が過ぎようとしています。現在の農業には、農業従事者の高齢化、離農者や遊休農地の増加等の問題が山積されております。そのような地域の問題解決のため、勉強して頑張っていきたいと思います。

### 3. 女性農業委員・女性農地利用最適化推進委員のペンリレー

## 私のつぶやき

～ 執筆者 藤里町農業委員会 農業委員 荒川 和佳子 さん ～



私は、藤里町の農業委員になって四年目になります。農業に関する知識や技術はありませんでしたが、女性の考え方も必要ということで任命されました。農業委員になったからには、少しでも力になりたいと努めてきました。

さて、町の農業にも様々な問題があります。まず、就農者が減っていることです。農業委員会大会等に参加して話を聞くと、どの市町村にも共通する問題だと感じました。私自身は、若い頃は農業に携わるなど思ってもおりませんでした。今では、畑を耕し直売所の会員になっております。この時期には、朝から晩まで干し餅をつくっています。

今、私にできることは農業の魅力、面白さや素晴らしさと様々な情報を提供していくことだと思っています。東北ブロックの女性委員の研修会の際、県女性協議会の皆さんとの情報交換は参考になるものばかりでした。実行するのは、簡単なことではありませんが、女性農業委員として、できることから頑張っていきたいと思います。

最後になりますが、前会長の高橋さんには研修会等で大変お世話になり、感謝申し上げます。

～ 執筆者 八郎潟町農業委員会 農業委員 小野 絹代 さん ～

農業委員がどのような事をするのかを詳しく知る間もなく、周囲の後押しで委員を引き受け、大変苦戦しております。

農地パトロールで町内を巡回すると、残念ながら管理が行き届いていない農地が散見されます。しかし、八郎潟町は中山間部の耕作放棄地も少なく、基盤整備も進んでおり、農業を営む上ではやりがいのある地域だと思っています。

八郎潟町では、人口減少と高齢化が進み、農業に従事する若者も少なく、担い手を確保するのも難しい現状です。

そんな中、若手農家の有志の団体が作られ、20人ほどの後継者が集まったそうです。今後の具体的な取組は、まだ検討中とのことですが、有志団体が作られたことは、農業委員会総会の際に会長より報告され、農業委員の一人としても連携・協力できたらと考えております。今後もこうした取組が広がり、若者の農業への意欲が高まることを期待しています。

地域の農業は多様な課題を多く抱えています。地域の相談役として頑張っていきたいと思っています。これからもよろしく願いいたします。



～ 執筆者 湯沢市農業委員会 農業委員 加藤 エリ子 さん ～



県女性協議会の役員改選により、会長に就任いたしました加藤エリ子です。湯沢市の農業委員になり四期目に入りました。よろしくお願い申し上げます。

昨年より、「こんなこと初めて」ということが次々に起きております。新型コロナウイルス禍での不自由な生活は一年以上も続き、農産品においては思うように販売することができません。

また、県南部を中心に襲った記録的な豪雪により、死傷者が出たり、幾多のパイプハウスや果樹などに甚大な被害が発生しております。このような時こそ、農業委員が農家の声に耳を傾けて、発言していくことが求められているのではないのでしょうか。

1月の研修会で、私達自らが行動を起こし、女性委員の存在感を高めていきたいと申し上げました。この達成に向け、個人で三つ、全体で一つのスローガンを掲げ取組んでいきたいと考えております。個人では、「農地制度と農地法を勉強しましょう」「農業委員会の総会や農政懇談会等で、意見や提案を出していきましょう」「農家からの相談を進んで受けましょう」全体では、「フードドライブ活動の推進」。女性委員の存在感を高めるため、こうした活動への積極的な取組みをよろしくお願い申し上げます。

編集・発行：秋田県農業委員会女性協議会（事務局：一般社団法人秋田県農業会議）

秋田市山王4丁目1-2 秋田地方総合庁舎内 TEL:018-823-2785 FAX:018-823-7361